

## アンケート結果を受けて改善したいところ 【人文社会科学系】

おおむね良好の結果だったので、特に改善すべきことはないと思う。内容については、難しすぎると答えた学生が約3分の1いたが、残りがちょうどいいという解答なので、このままでよいと思う。

まずまずではないかと思う。このままいくつもりである。

(問1)については①と②の合計が100%、(問7)については①と②の合計が87, 5%であることから、授業内容に関しては目標を達成できたと思われる。また、(問13)と(問14)については、「ちょうどいい」という回答がそれぞれ79, 2%と87, 5%であることから、授業の難易度と量は問題ないと思われる。ただし、(問8)と(問10)については、①と②の合計がそれぞれ54, 1%、58, 4%であることから、話し方と板書に関しては改善の余地があると考えられる。

技能習熟の面が強いため、自ら資料等を探すという課題は行っていない。一方で、そのような課題が期待されているのであるのなら、そちらの方に課題内容をシフトしていくことも検討する。

学生たちが真面目に取り組んでくれたお陰で授業はスムーズに進んだが、アンケートの中の問11「教員とのコミュニケーションがうまくとれているか」の評価で、「どちらともいえない」の解答が多かった。学生との時間があまりとれなかったのが原因だと思うので、これからはさらにもう少し学生たちとのやり取りをする時間をもうけたいと思っている。

・アンケート結果は、概ね良好であり、大きな問題はなかったと思う。  
・ただし、授業中に口頭で聞いたアンケートでは、講座の最初の方に講読した文献が難解であるという意見が多かったので、来年度は、文献のレベルをもう少しレベルを下げ、かつ現代的な書物にしようと思う。

この授業を受講する新たな学生に、よりわかりやすく、より楽しみながら日本語の使用実態についての理解を高められる授業を目指し、さらなる授業準備に励みます。

教員の話し方については、常に大声で話すことを心がけており、高い評価を得た。今後もこうした点に気を配りながら授業をしたい。自由記述欄の字幕が見えなかったという苦情については、私も同様に感じた。しかしどうしてよいかわからなかった。後で気が付いたが、映像がズームになっていて字幕の部分が画面からはみ出してしまったのが原因であった。次年度は機材の使用方をあらかじめ確認した上で、授業に臨みたい。

フィードバックシートを匿名にしてほしいという意見があったので、次年度は学生と相談して匿名がよいかどうかを検討したいと思う。授業の難易度が「ちょうどいい」と答えた学生が多かったので、もうすこし難しくしてもいいのではないかと判断した。多様な考え方ができるようになったとしているが、批判的な思考により物事をより深く捉えるような場面を増やすことを課題としたい。また、自由記述から、授業内容がニーズに合っていたということが一部ではあるが確認できたので、次年度に活かしたいと思う。

アンケートから、講義形式の授業では能動的な取り組みを促すという点に課題があることが明らかとなった。適宜、問いを用意するなどして、受講者の問題意識を刺激しながら進める工夫をしたいと考える。

授業の難易度について、4割の受講生が難しいと回答していた。同時に1回当たりの授業内容の量についても3割が多いと回答していた。二人で担当しているため、それぞれがかなり圧縮した内容と量で授業を行った結果であると判断される。この点は次回以降、内容・量ともに再検討しなければならないと思われる。

専門科目であるにも関わらず、まったく授業のテーマに興味がないという学生に対しては、授業中の工夫だけでは限界があるように思う。  
例えば、志望と異なるコースに進学せざるを得なかった、あるいは、経済的な理由で勉学の時間が思うように取れない、などの学生個人の環境的な要因があるのではないかという点も含めて、授業外でのカウンセリングの必要性を感じている。  
可能な限り、個々の学生に寄り添える形を今後の課題として考えていきたい。

講義形式の授業が中心であるが、双方向のコミュニケーションをもっと取り入れるよう改善したい。授業の難易度について「ちょうどいい」と回答した学生が8割もいたことから、もう少しレベルを上げてほしいと感じた。

学生同士の学びあいの部分を強化したい。

自主的な学び、学生同士の学びあいを促す工夫をしたい。

外国語演習Ⅲは、引き続き同じ教科書を使いたい、受講者には授業のやり方に不満も多かったはずである。発表者が自主的な学習ができるよう、発表内容の指示をよりの確に行いたい。また、他の受講者が受身的に授業に臨むことがないよう、工夫をしたい。

言語と認識の関係という非常に興味深いテーマを扱った本や論文を読んだので、大多数の学生が新しい知識の刺激を受け、自らも調べることを行ったことがわかった。同時に3分の1の学生が、難易度に関して「難しい」と回答した。私にとってもこの授業の担当は初めてで難しい内容もあったので、それはよくわかるが、学習時間が「1時間未満」の学生が3分の2を占めているので、これでは特に英文論文の読解は難しいであろうと思う。

難易度に関して「難しい」が22.7%あったので、もっと丁寧な説明を心がけたい。一方、学習時間が「1時間未満」が36.4%もあったので、せめて教科書くらいはきちんと読んだのかどうか、チェックできるような体制を考えたい。指定の教科書は決してやさしい本ではなく、一つの章を読むだけでもそれなりに時間がかかるはずである。

難易度に関して、「難しい」と「ちょうどいい」が半々ずつであった。講読した論文の英文自体が難しかったと思われる。もう少し読みやすい英文文献を選ぶべきであったと考えている。

アンケート項目を見ると、「学生同士で話し合った」かどうか、「教員とコミュニケーションがとれた」かどうかを尋ねる項目が低評価であったが、今後は一方的に教員側が内容を伝えるのではなく、ある程度、ディスカッションの時間を作るよう、心掛けたい。

・問1～12までは比較的良い評価をいただいたが、問13「授業の難易度」は低い評価であった。気候の説明の中に気象現象のメカニズムを加える必要があり、文系の社会科学の学生には難しいと感じられたと思われる。もう少し丁寧な説明が必要であろう。  
・問15の授業準備の時間が1時間未満の割合が65%であった。もう少し事前の課題を与えてもよいのかと思われる。

授業の難易度について、「難しい・難しすぎる」とした回答が全体の半数弱あり、自由記述欄にもそのような書き込みがあった。くずし字を練習する時間があまり取れなかったため、集中的にくずし字を学ぶ回をもっと多く設けるか、毎回一定の時間(30分程度)をくずし字の練習に当てるなど、自主的な学習に頼りすぎないよう気をつけたい。

アンケートの結果は全体的に好評だったように思われる。特に、話し方・説明のわかりやすさなどについては評価も高く、教師としても嬉しかった。他方、教材のわかりやすさについては若干ながら「あまりそうは思わない」としている学生もいた。今回の教科書は会話主体のものであり、文法的には少々難しいものであっても、説明もなく取り扱われていることも影響しているのではないかと思う。どの教材にも欠点はある、すべての学生に合った教科書など困難であることは承知しているものの、教材研究は今後も続けていかなければならない、と改めて考えさせられた。

アンケートでは内容が難しいと感じる学生が若干いる。その一方、期末レポートでは、簡単すぎると書いている学生もいたため(経済学基礎演習)、さじ加減が難しいが、学生の反応を見ながら臨機応変に対応できるようにしたい。  
あと、授業時間外の学習時間が少ないので、何らかの課題を考えたい。

選択で受講している20人前後の授業は、もともと興味・関心があって聞いているのだから、こちらが余程のミスをしないうえに、このくらいの評価結果となるのは当然であり、むしろ、これをもっと良い結果とすることができるように、上記のような営為をつづけたい。問題は多数の必修であり、やはりなかなか講義になじめないという反応も生じているようである。しかし、やはり少しでも否定的なリアクションがあるのは残念であり、何とかこれを0に近づけたい。ただ、そこでも何か妙手がある訳でもなく、上記の営為をより徹底して行っていくように自らに課していくしかないであろう。これは終わりのない挑戦である。

授業の難易度の難しいの%が少し高いので、今年度は工夫してみたい。